



〔懇談会の様子〕

12月12日(木)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、佐竹秋田県知事と本会役員による懇談会を開催しました。

開催にあたり、藤澤会長は「中小企業・小規模事業者が経営課題を克服し、成長を続けるためには企業同士の連携が不可欠であり、組合の設立に加え、多様な連携が求められており、本会の果たすべき役割は益々重要なものになっていると考えている。本会では、今年度も全ての指導員が会員組合へ訪問し、中小企業の生の声を収集するとともに持ち帰った問題点・課題等



〔藤澤会長挨拶〕

については、情報を共有し、支援活動につなげ、県内企業の振興・発展につながるよう取り組んでいるので、今後も県からの一層のご指導・ご支援をお願いしたい。」と挨拶しました。

一方、佐竹知事は「一般的にどこにでも売っている商品はこの先10年で、7割から8割はネット販売に移行する可能性がある。これからは通販やネット販売が益々増えると考えられる。

一般的な商品を買っている店は、まず地方から消えていく。これからの時代、大企業も合併、あるいは提携という展開が予想される。将来的にはこれに対する対応が一番求められ、同種あるいは異業種も含めての協業化、又は組合、ある



〔佐竹知事挨拶〕

いは企業合同、ホールディングスという流れを政府は中小企業対策の重点に置いている。その中で、企業の連携等これをどうするか、中央会に一番期待している。初めのうちは協業化や共同仕入れなどの共同事業が非常に重要になってくる。中央会には商工3団体の一番最後の切り所として頑張っていていただき、また我々と一緒にそのような方向にもっていくことが、地方の産業を守ることに become と思う。是非ご理解の上、一緒にがんばって行きたい。」と挨拶がありました。

懇談会では、藤澤会長はじめ、役員より下記の5分野9項目の要望を行いました。

## インフラ整備

- ◆ 県内高速道路ネットワークの早期完成について
- ◆ 奥羽・羽越両新幹線の実現に向けた取り組み強化及び秋田新幹線トンネル整備(赤淵～田沢湖間)の早期実現について

## 中小企業組合・中央会等に対する支援の拡充

- ◆ 中小企業連携の専門的支援機関である中央会に対する商工団体組織活動強化費補助金の確保及び強化について

## 「中小企業振興条例」に基づく産業支援

- ◆ 中小企業が農林漁業者や流通事業者等多様な連携を通じて取り組む販路開拓及びブランド化を実現するための支援の継続・強化について
- ◆ クルーズ船の更なる誘致について
- ◆ 人材確保を目的とした高等学校等への出前体験授業等の実施に対する支援について

## 官公需関連

- ◆ 公共工事の早期発注とゼロ県債の拡大等による一層効果的な発注平準化施策の推進について
- ◆ 地元中小企業・小規模事業者の受注機会の拡大に向けた市町村への働きかけについて

## 外国人材の活用等について

- ◆ 外国人労働者の特定技能在留資格に関する産業分野の拡大について国等への働きかけ強化について